

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「歴史のこみち」を活用した地域協働による観光地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	4,989,600円 (うち支援金: 3,326,000円)

事業内容

下諏訪宿の歴史的価値を活かし、諏訪大社に訪れる観光客をまち歩き周遊観光へいざなうために宿場街道資料館を「歴史のこみち」として整備し、地域住民と協働で観光まちづくりを推進する環境を整えた。

宿場街道資料館の中庭を和風庭園として整備する事業、土蔵を地元住民が活用できる空間とするための整備事業を行った。

また、地域住民に歴史のこみちを知ってもらい、地域に愛着を深め、協働で観光まちづくりを進めることを目指して、歴史のこみちオープニング式典、歴史のこみち解説パンフレット制作、地域資源発見ワークショップ、宿場街道資料館での茶の湯体験を行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①諏訪大社下社秋宮へ訪れる観光客が、歴史のこみちへ足を進めてくれるようになり、宿場街道資料館の入館者が増加し、宿場街への観光客の動きが出てきた。

②観光まちづくりの環境を整備したことにより、地域住民が地域に愛着を持ち、地域のことを知るワークショップを自ら企画・開催することとなった

③宿場の風情がよりよく醸し出されるようになり、この風情を活かそうと地域の発案で、茶の湯体験を開催することになり、観光客のみならず地元の人も多く訪れ、お茶を楽しみながら歴史のこみちに親しんでいる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和元年度は、住民と協働ですすめる観光まちづくりの環境整備を行ったが、今後は住民の皆さんと意見交換を行い、歴史のこみちを活用して、地域住民の交流、地域住民と観光客との交流が促進されるようなソフト事業を展開して町に賑わいを取り戻していきたい。



【歴史のこみちで茶の湯体験】

【目標・ねらい】

- ①観光客のまち歩き促進
- ②住民の観光まちづくり参加の環境整備
- ③地域の賑わいを取り戻す

※自己評価【 B 】

【理由】

宿場街への観光客の流れをつくることができ、宿場街の賑わいへつなげることができた。地域住民が自ら地域のことを知る活動、地域を楽しむ活動へとつながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある